MAKYO
馬驍水墨画会報
発行所　馬驍水墨画会本部事務局、馬驍事務所
〒121-0815　東京都足立区島根四丁目二十一-十八　MAKYO ビル
電話：〇三（五八五一）九四五五・九四六六　http://www.makyo.jp
—第 24 号—
2017 年 7 月 1 日
不定期発行



会　期：2016 年 11 月**23** 日（水）～11 月**28** 日（月）
　　10：30～18：00（最終日は 15：00）入場無料
会　場：**すみだリバーサイドホールギャラリー**（墨田区役所内）
　　東京都 墨田区 吾妻橋 1-23-20　Tel. 03-5608-6430
主　催：馬驍水墨画会全国本部　馬驍芸術大賞展実行委員会
後　援：中華人民共和国駐日本国大使館文化部　日中文化交流協会
　　（株）ユーキャン（株）日貿出版社　（株）可成屋
協　力：（株）華人 Channel Japan
実行委員長：李 文培（水墨画家）
実 行 委 員：三浦 ひろみ（日本画家）　西村 修一（彫刻家　元日本馬術連盟理事 馬驍水墨画会美術顧問）
　　王 荻地（馬驍水墨画会副代表）
審査委員長：東 強（洋画家）
審 査 委 員：水野 渥（日貿出版社会長 美術評論家　馬驍水墨画会美術顧問）
　　後藤 紳也（日本画家　日本美術院院友）
　　陳 達明（美術評論家　馬驍水墨画会美術顧問）
　　馬 驍（馬驍水墨画会代表）　馬 艶（馬驍水墨画会副代表）
運営委員長：上坂 幸市
運 営 委 員：田口 婦美子　竹井 嘉郎　水上 玲



第 13 回
馬驍水墨画大賞展
実行委員長

李 文培
（水墨画家）

北京生まれ。1964 年に国立中央戯劇大学舞台美術科を卒業。
中国京劇院で舞台美術設計に 40 年以上従事し、多くの作品を残す。学生時代に西洋画法を修得。中国京劇院で著名京劇役者と生活を共にし、京劇に心酔する。水墨画・伝統芸術を深く極め、稀有な美術環境で独特な水墨京劇人物画を完成させた。（東京在住）



李文培先生の京劇に関する講演



日本伝統芸能「歌舞伎」について講演される画会美術顧問の西村修一先生

馬驍水墨画会は 1979 年静岡にて発足。水墨画の普及と地位向上を図ると共に、日中両国の文化交流を目指して設立しました。
1980～1992 年は「馬驍水墨画会会員作品展」(7 回)
1993～1998 年には「日中水墨画交流展」(6 回) を開催。
1999 年～2015 年は「馬驍芸術大賞展」(12 回) と名称を改め、水墨画学習を趣味の域を超えた芸術性を追求して参りました。さらに豊かな作品を制作するため、毎回、美術史家、美術評論家、画家、彫刻家、書家、音楽家、武術家、女優、舞踊家、日中文化界の名士に実行委員長などに就任いただき、ご指導を受け交流を図って参りました。2016 年は、制作テーマを「水墨画の伝統を踏まえ、心に触れた感動や心に響いた事象に自身の発想力を膨らませ、新しい時代に相応しい個性豊かな創作作品」と定め、「第 13 回 馬驍芸術大賞展 / 第 4 回作家展」を開催いたしました。

今回は「中国伝統京劇 × 日本伝統歌舞伎との対話」と題し、著名中国水墨人物画家・李文培先生と日本彫塑家・西村修一先生の対談を行い、日中の伝統文化を学び、会員の素養を高めると共に、日中友好を願い企画いたしました。聴講された会員たちは京劇に対して理解を深める事が出来、今後の作品制作に役立つ事と思います。

毎年各界の多大なご支援を頂き心から感謝すると共に、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い致します。

馬驍芸術大賞展実行委員会

2017年 馬驍水墨画会設立 38 周年記念
第14回**馬驍芸術大賞展**（公募）　第 5 回**作家展**
会期：12月13日（火）～12月18日（月）
会場：すみだリバーサイドホールギャラリー

第13回 馬驍芸術大賞展

制作から展示・実演まで



墨田区長 山本 亨氏と馬艶
林雄廣さんの作品「風の盆」の前で

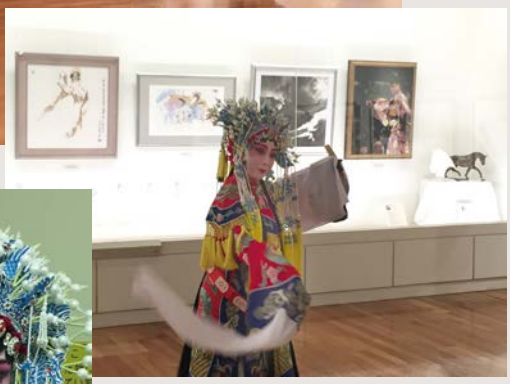


馬驍事務所での審査会の先生たち（馬驍、水野暹、陳達明、後藤紳也、王荻地）　2016･10･16



馬艶先生から馬驍芸術大賞を授与される榮野比常子さん







「未来の作家たち」作品と展示会場風景





李文培先生と馬驍先生の楊貴妃を描いた作品の前で董莉さん（左）と、劉妍さん（右）が京劇を演じ、中国の本場の伝統芸能だけでなく、そのルーツをも示して頂いた演目で、本場の京劇に興奮し、ご来賓の方々を初め会員一同感動いたしました



搬出後、会場において反省会と懇親会。司会進行副会長 上坂幸市さん



展示会場での王荻地先生の席画を囲む来場者

2017 馬驍水墨画会

中国湖南省の世界遺産

スケッチツアー 2017年4月13日～4月18日

張家界武陵原 鳳凰古城

今回は2011年以来、6年振りの企画で経験豊富な添乗員李又三氏のもと初参加の方々を交え、最高年齢94歳の鮫島さんを筆頭に、リハビリ専念中の馬驍先生も大自然の名勝地区で英気を養われ、全員無事に帰国。

古生代以降の地殻変動と風雨の浸食で 形成された雄大な景観の武陵原張家界、袁家界には百龍エレベーターで一気に上り、天門山(標高1,518m)の中腹までの7kmをロープウェーで空中遊覧。 断崖絶壁に築かれた鬼谷栈道の神業には驚愕。湧雲に高さを忘れしばし山水画の世界に魅了。下山後、鳳凰古城の川辺で写生を楽しみ、最後に訪れた王庸の長閑な田園での農家野外ランチに一息つき、天門洞 天門連山を遠望してのスケッチタイムも画会の醍醐味。大賞展では傑作が並ぶ事でしょう。

「旅行概要」水上　玲　画会副会長



「張家界記念碑」の前で記念撮影

――旅 行 記（抜粋）――

馬驍水墨画会が企画されたスケッチ旅行には、毎回欠かさず参加させて頂きました。張家界であの霧が湧いてきた山々が素敵な絵画のようでした。 果してこのすばらしさを描くことが出来るか疑問ですが描いてみたいと思います。

副会長:田口婦美子(会員歴39年)

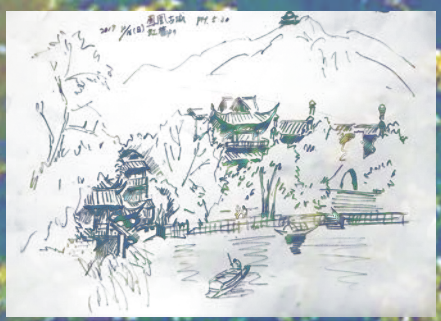
張家界武陵源、鳳凰古城に夫婦で参加しました。寒いのか暑いのか気候が定まらず寒さ対策に荷物が多くなってしまった。「百聞は一見にしかず」やはり自分の目で見る感動はかえがたいものです。
普段クラスの違う方々とはあまり接点がないのですが、先輩後輩関係なく親しくさせて頂いたことが何よりでした。　会員:小池清子



「鳳凰古城」でスケッチをする会員

大自然を大観光地にした中国の国力に驚き、映画アバターのロケ地に袁家界の奇岩群を特撮した理由も納得。
ハードな日程をクリアした馬驍会のパワーに乾杯！ 少数民族の街「鳳凰古城」では、河畔にて古い家並みをスケッチし、王先生のご指導もありました。
「黄永玉」作品鑑賞など馬驍水墨画会ならではの充実でした。 土家族や苗族の衣裳や料理を味わい、馬艶先生イチオシのコラーゲンたっぷりの食材に女子力上げての帰国になりました。

会員:徳橋恭子



「鳳凰古城」スケッチ(新田邦子)



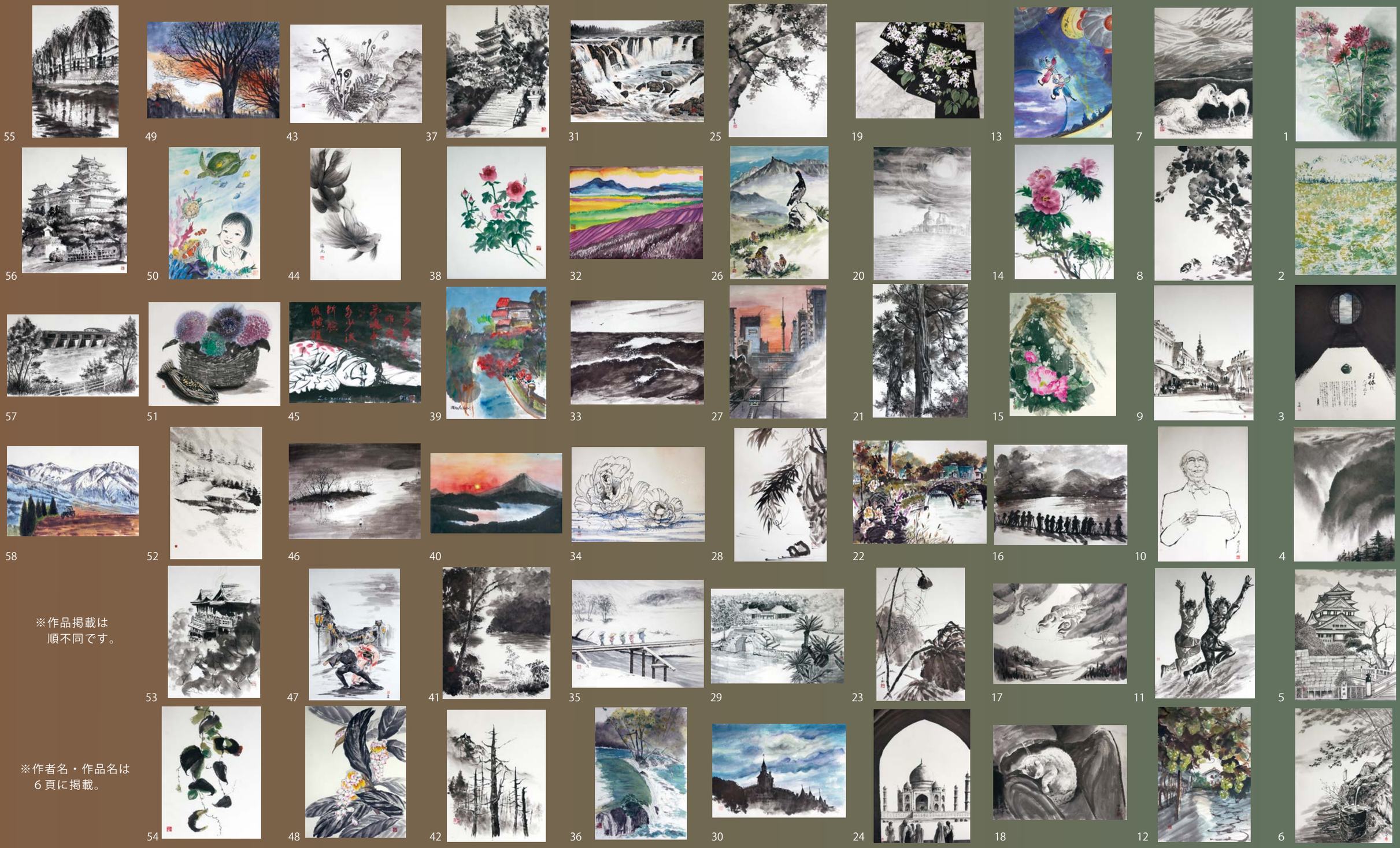
「天門洞」を望むスケッチ(王荻地)

中国での馬驍先生拝見しておりますとあれだけ頑張れたのは、芸術に対する情熱が心も身体も動かせたものと、身近で感動させて頂きました。先生にとって最高のリハビリだと私は思っております。
画会の皆様と話す機会があり、私の心の宝物となりました。皆様に感謝致します。

先生の長年の友人 梶幸雄氏

馬驍水墨画会設立 37 周年記念

2016年 第13回 馬驍芸術大賞展 第4回 作家展



※作品掲載は
順不同です。

※作者名・作品名は
6 頁に掲載。

第13回 馬驍芸術大賞展 第 4 回 作家展出品者

※作者名は順不同です

(1) 大野　洋子 東京都 七月のダリア
(2) 鎌島　純子 北海道 初夏の蓮
(3) 菊島　幸子 神奈川県 緑釉・利休にたずねよ
(4) 上坂　幸市 茨城県 晩　鐘
(5) 国領　理恵 神奈川県 極楽橋
(6) 小村　文子 埼玉県 懸　水
(7) 佐藤千恵子 静岡県 お・か・あ・さん
(8) 鈴木　静江 静岡県 華
(9) 高木まり子 東京都 午後のザグレブ
(10) 高橋　周子 東京都 遊 神 II
(11) 田口婦美子 静岡県 躍　動
(12) 竹井　嘉郎 東京都 葡萄仲秋
(13) 土田　憲子 東京都 宇宙の旅
(14) 坪内　澄代 埼玉県 麗　日
(15) 徳納　美津 埼玉県 夢の中の寒譜
(16) 外山　幸子 東京都 待つ
(17) 新田　邦子 埼玉県 棚田の空に
(18) 根岸　協子 東京都 居心地よき場所
(19) 荷見　博子 東京都 むべの花
(20) 八幡佐起子 奈良県 月　下
(21) 濱田そよ子 奈良県 双　樹
(22) 廣住美智子 静岡県 風の街
(23) 水上　　玲 東京都 春睡是空
(24) 道江　義頼 埼玉県 祈りのタージ・マハル
(25) 宮田　豊子 群馬県 冒　険
(26) 山森久美子 神奈川県 只今子育て中（雷鳥）
(27) 横山久美子 東京都 夜明けの跨線橋
(28) 麻生　節子 千葉県 昼下がり
(29) 榮野比常子 沖縄県 琉球庭園
(30) 大附　瑞枝 東京都 コンシェルジュリー
(31) 大野　　征 神奈川県 曽木の滝
(32) 岡﨑　豊輝 東京都 慈・悲・喜・捨
(33) 桐生　厚志 東京都 土佐の海
(34) 熊切　藤栄 静岡県「グラナゾ」公演より楊麗萍
(35) 熊坂ミヨ子 埼玉県 登校
(36) 栗下　好野 神奈川県 プリトヴィツェ公園
(37) 小池　清子 千葉県 31 番札所・竹林寺
(38) 国保　孝子 神奈川県 艶
(39) 佐藤美奈子 東京都 石神井の家
(40) 鮫島　純子 東京都 希　望
(41) 柴田　玲子 神奈川県 木洩れ日
(42) 高野山益美 千葉県 清　閑
(43) 田中千恵子 千葉県 日陰のかずら
(44) 徳橋　恭子 東京都　環
(45) 西本　佳代 東京都 ル・ノワロ（黒毛）
(46) 根本　京子 茨城県 濃霧の朝に
(47) 林　　雄廣 東京都 風の盆
(48) 廣田　好恵 千葉県 猛暑の贈り物（月桃）
(49) 御子柴洋子 東京都 夕映えの武蔵野
(50) 水野美津子 東京都 ワァ！　舞香ちゃん
(51) 荒木あや子 千葉県 あじさい
(52) 大江　千恵 千葉県 思　い
(53) 太田　憲子 埼玉県 清水寺の昼下がり
(54) 斉藤　栄子 千葉県 転　生
(55) 佐藤　嘉代 千葉県 水　面
(56) 鈴木　忠一 埼玉県 日本の城
(57) 田中　早苗 千葉県 江戸川のはじまり
(58) 山内　章子 埼玉県 大雪山

◆◆[特別展示]
李　文 培：三叉口
三浦ひろみ：風に聴け
西村 修一：忍土
王　荻 地：九寨溝の印象
東　　強：木村庄之助
後藤 紳也：若松
陳　達 明：秋声
馬　　驍：神思篇
馬　　艶：風格



新書発行

馬艶著
「黄金の法則」
水墨画を学ぶ方が
早く上達するための
入門書（全 96 頁）
定価：2,200 円

好評発売中！
購入方法：（株）日貿出版社
電話：03-5805-3303



馬艶水墨画展

馬艶活動

「馬艶水墨画展」Noir & Blanc 墨を彩る
会場：ホテル椿山荘東京アートギャラリー　会期：2016 年9月2日～11 日



「馬艶による水墨画と書のパフォーマンス」
「和華」創刊三周年スペシャル交流会にて、お祝いとして水墨画と書を披露。限られた時間の中で、水墨画は“蓮と鯉”を描き、書では“和華艶墨展未来”を書かせて頂きました。　（2017・3・4）

「酉年の年賀状」講座
野田中央公民館にて　（2016・10・17）



日本漢服会会員の「水彩スケッチ会」
「馬艶水墨画展」鑑賞後、椿山荘庭園にて
（2016・9・4）



芸術活動

「二人展」馬驍・王荻地

会場：ホテル椿山荘東京アートギャラリー
会期：2016 年 9 月 2 日～11 日





展示会場で「日本華僑華人婦人連合会」の皆さんに
解説をする王荻地先生　（2016・9・5）

会員交流



「墨田川花火大会」観賞の夕べ、ご来賓と会員が先生を囲んで楽しい
ひとときを過ごした。　馬驍先生自宅居間（2016・7・30 ）



「足立区花火大会」観賞の夕べ。元衆議院議員今井 宏氏、李 文培先生、東 強先生と
一緒に会員達も花火に歓喜した。　馬驍先生自宅屋上（2016・7・23）

芸術交流



中国大使館主催「日中国交正常化 45 周年記念」
日中友好団体新年会　文化参事官・陳 諍氏と馬 艶（2017・2・22）



伊藤昌個展のオープニングに駆けつけました。塩澤玉聖、藤崎千雲、
根岸嘉一郎先生と馬驍、王荻地、馬艶（新宿・ヒルトピア アートスクエア）　2017・3・8

第 14 回 馬驍芸術大賞展実行委員長 マークエステル氏（著名油彩画家）紹介



2017年4月17日。「マークエステル油彩画展」
銀座アートホールに馬 艶が恭敬訪問。



1991年仏画家マークエステル氏と
東京で「水墨の破墨技法と油彩の破
墨技法」について中国語で対談。

1943 年　フランス・パリに生まれる（日本在住）
1970 年～フランス、アメリカ、日本各地など世界中で作品展開催。
　日本神話 古事記を研究され作品に表現。
　伊勢神宮を初め日本各地の神社 170 社に作品を奉納。
1991 年　マークエステル個展会場にて馬驍、王荻地と対談。
2007 年　神道文化会より文化奨励賞を受賞。
2014 年　「日本文化関係者文部大臣賞」を受賞。

2017展覧会のご案内（予定）

―馬驍・王荻地・馬艶三人展―

《水墨画 美と技をつなぐ》

馬　驍――潑墨・潑彩の神秘な世界――
王荻地――花と小鳥のユートピア――
馬　艶――涼やかな水の世界――

主催：日貿出版社　協力：馬驍水墨画会
会期：2017年7月26日(水)～8月1日(火)
11:00～18:00(但し、初日26日は13:00より開廊 最終日は1日は16:00)
会場：新宿ヒルトン東京ヒルトピア アートスクエア(B1)

芸術の旅30年記念
「純蔵人 création」(書・篆刻・写真など)
2017年9月21日(木)～24日(日) 午前10時～午後4時
ギャラリー平左衛門　Tel 04-7153-9215
〒270-0101 千葉県流山市東深井431
(東武アーバンパークライン「運河駅」徒歩２分)

馬驍水墨画会設立38周年記念
第14回馬驍芸術大賞展（公募）
第５回 作家展
会期：12月13日(水)～12月18日(月)
会場：すみだリバーサイドホールギャラリー



会員活動紹介

白井守之・白井道子
「水墨画二人展」
会期：2016年3月15日～3月20日
場所：豊川市桜ヶ丘ミュジアム

画集発行
豊川市の「豊川稲荷客殿」に掲載作品
白井守之作「木漏れ日」奉納

根岸協子―講師活動―
第 39 回 千早地域文化創造館文化祭
あ ゆ み 展
会期：2016 年 10 月8日～10 月9日
場所：千早地域文化創造館

水上　玲 ―講師活動―
第7回　墨羊会
「墨彩画・秋季作品展」出品者8名
会期：2016年10月9日～10月22日
場所：八雲住区センター(目黒区)

徳橋梅花（徳橋恭子）《墨の絵展覧会》
会期：2016年4月11日(火)～5月7日(日)
場所：道の駅きょなん案内所ギャラリー



新田邦子墨彩画展
会期：2016 年 10 月 25 日～10 月 30 日
場所：ギャラリー喫茶「オンブル」(所沢市)

会期：2016 年 11 月8日～11月 13 日
場所：メディカルハーブガーデン
「生活の木」薬香草園ギャラリー(飯能市)


コンコルド広場・噴水



田口婦美子・鈴木静江 ―講師活動―
第 16 回「水墨・墨彩画合同交流展」
出品者：静岡市近郊7教室合同 85 名
会期：2016 年9月 26 日～10 月２日
場所：静岡市市民ギャラリー

2016 年 馬驍「創作・特殊技法コース」修了証授与

第10期受講生
小村　文子
宮田　豊子
外山　幸子
田口婦美子
鈴木　静江
水上　玲
榮野比常子

第９期受講生
外山　幸子
鈴木　静江
上坂　幸市
八幡佐起子
鎌島　純子

馬驍水墨画会教室案内
（見学随時）

受講会場：(社) 日本美術家連盟・美術家会館５階
住所東京都中央区銀座３-10-19

《水墨画・墨彩画コース》毎月第１週（原則）
① **A** コース：馬　艶先生　（土）12：00～14：00
② **B** コース：馬　艶先生　（土）15：00～17：00
③ **C** コース：馬　艶先生　（土）11：00～13：00
④ **制作指導コース：**
王荻地先生　（月）13：30～17：00

受講会場：新・馬驍アトリエ
住　　所：東京都足立区島根４-21-18　MAKYO ビル

馬驍「創作・特殊技法」少人数コース（各期４回）
創作制作・添削を希望される会員
①第 11 期：4/24・5/22・6/26・7/24（月曜日）13：00～16：00
②第 12 期：8/28・9/25・10/23・11/27（月曜日）13：00～16：00
※各期終了後に「修了証」が発行されます。

●お問い合わせ：馬驍水墨画会事務所　〒121-0815　東京都足立区島根４-21-18　Tel.Fax. 03-5851-9455　Tel. 03-5851-9466
ホームページ　http://www.makyo.jp　E-mail:　makyoinfo@gmail.com

会員訃報

白井守之様（画会理事）
平成29年1月7日
72歳にて永眠されました。
心よりご冥福をお祈り致します。

今田洋子様（画会理事）
平成29年 3月19日
73歳にて永眠されました。
心よりご冥福をお祈り致します。
（シュモーに学ぶ会代表・広島）

新会員紹介

中西　舞（東京都）
角田美恵子（埼玉県）
早乙女絵美（埼玉県）
包　誠心（東京都）
魚見紀美子（東京都）
陳　勤（神奈川）
原田孝子（東京都）

会報編集者

上坂幸市、田口婦美子
水上 玲、馬 艶

編集後記

●画会の活動と大賞展開幕式について新聞一面に記事を掲載頂いた毛 峰氏に厚くお礼申し上げます。

●大賞展に賛助して頂きレセプションに「青島ビール」「勁酒」をご提供頂き会員一同感謝申し上げます。

●馬驍芸術大賞展運営に協力された皆様と開幕式・受賞式の司会進行（記録）担当された上坂幸市、水上 玲さん。撮影担当の竹井嘉郎、大野 征さんに感謝申し上げます。